

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止に向けて職員間で話し合い、理解を深めて取り組んでいるが、現状玄関の施錠は常に離設しようとされる利用者様があり致し方なく施錠している。他、車椅子からの転落防止の為家族の同意を頂いて目の離せない場面においてベルトを使用している。	現状の中でも少しでも開錠の時間やベルトを使用しない時間を長く持てるようになる	時間等工夫して職員と一緒に散歩やドライブ等外出の機会をもって気分転換を図り施錠する必要のない時間を増やす。車椅子からの滑落転落は出来るだけ職員が目が届く範囲でベルト無しで過ごして頂ける時間を増やす。	6 か月
2	35	災害対策については施設内では定期的に会議や避難訓練を実施しているが、地域住民や消防団等の協力を得る取り組みが出来ていない。	災害時には地域の住民の方々や消防団の力も借りて入居者様の安全が確保できる	民生委員さん等から地域の情報を得て消防団等の関係の方々や繋がりを持ち少しでも防災に関する連携が出来るよう取り組む。また近所の住民の方々とも協力できる様働き掛けを行う。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。